

子育てだより



発行

岩倉市子育て支援センター

電話・FAX 0587-38-3911

〒482-0011

岩倉市昭和町2丁目17番地

こんにちは子育て支援センターです

子育て支援センターは、子育ての悩みや喜びを分かち合える場。

親子が楽しく安心してあそべる場です。また、子育ての悩みの相談を受けたり、子育てに関する総合的な支援をおこなったりしています。

- 子どもを安心して遊ばせたい。
- 同じ年ごろの子どもを持つお母さんと、知り合いになりたい。
- 子育てで悩んでいる。相談したいが誰か相談できる人は？
- 一日中、子どもの世話でストレスがたまりそう…すこしホッとしたい。
- 子育ての情報を知るには？など。

ちいさいお子さんをお持ちの方なら、子育てに悩んだり迷ったりはいっぱいありますね。そんな時は、ひとりで考え込まないで誰かに話してみましょ。案外“同じようなことで悩んでいた”ということがあったりして、『私だけではなかった』とホッとできるものです。

子育て中のお母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん、そして、子どもたちの会場の場です。いつでもあそびに来てくださいね。

子育て支援センターはお母さんの子育てを応援します
困ったとき、悩んだとき、なんでも気軽に相談してくださいね。
○岩倉市子育て支援センター

昭和町2丁目17番地(市民プラザ2階)

電話・FAX 38-3911

楽しい思い出を いっぱいつくろう！！

この歌は小さい時、お母さんがよく歌ってくれた…、この本は、お父さんが読んでくれた絵本で大好きだった…と歌ってもらった子守歌や手遊びや、読んでもらった絵本など日頃は忘れて思い出すことなく過ぎているけれど、ふとした瞬間に思い出し、懐かしく心が温かく感じる事がありますね。

子どもたちが成長していくうえで、いろいろつらい事があった時に心温まる出来事やお父さんやお母さんとの楽しい思い出が心の支えになり、生きていくうえで力になるような気がします。一つでも二つでもより多く、子どもたちとの楽しい時間を過ごせるといいですね。忙しく生活をしている毎日ですが、時にはお子さんと向かい合ってふれ合いあそびなど楽しんでみましょう。

2歳未満児の子どもたちのあそびは、手足を動かしたり、身近にあるものを握ったり、転がしたり、投げたり感覚運動的な繰り返しを楽しむあそびや、みたて(ごっこ)を楽しむあそびが中心です。



1歳半ころになると、人のまねをしたり、体験したことを再現してあそびます。いろいろな実物に触れたり見たりする経験を大切にしたいですね。

《やりとり遊びを楽しむ》



絵本などをみながら、書いてある絵を指さして名前を言ったり、聞いた名前を探したりして、楽しみましょう。子どもが見たり、体験したりしたことのある内容の絵本を選ぶとよいでしょう。

向かい合って手あそびをしたり、歌に合わせて手を叩いたり…大人が楽しんでやっているのを見せてあげてくださいね。



両手を握って、どちらかの手のひらにマスコットなどを入れ「どっちの手に入ってるかな？」と、かくしっこや、あてっこを楽しみましょう。見えなくても「ある」ことに気づくようになる知的あそびです。



《ものであそぶ》

並べたり、積んだり、崩したり。ひとりで集中しているときは、そっと見守りましょう。2歳を過ぎると見立てて遊ぶようになります。子どもの“つもり”にそっとかかわりましょう。



1歳半ころから2歳にかけて、まね、見立てが盛んになります。イメージを使う遊びで、心の世界が芽生えた証拠です。身近なものでいろいろな“〇〇のつもり”を楽しみましょう。まね、見立ての源泉は生活経験です。

ボールは身体の発達に合わせて、とる、持つ、運ぶ、投げる、ける、転がすなど、さまざまな楽しみ方ができます。1歳半ころには、ゆっくり転がしたボールをお子さんと一緒に追いかけてみましょう。



身近にあるダンボール箱なども、お家にみたり、電車やトンネルにみたりしてあそべます。



《からだを使って楽しむ》

2歳ころになると走る、跳ぶなど基本的運動機能が分化し、思うように身体を動かすことができるようになってきます。身体を十分に動かしたあそびを通じて思いっきり子どもとのふれあいやあそびを楽しみましょう。

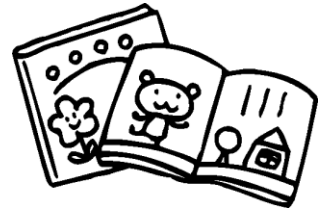
のんびり家の周りをお散歩したり、近くの公園で遊具に乗ったり…。楽しい発見もいっぱいありますよ。



向かい合って手をつないで、好きな曲を歌いながら、その場で足踏みやピョンピョンと一緒にジャンプをします。バランス力や跳ねる力をつけることができますよ。



絵本を楽しもう



赤ちゃんの体の成長に母乳やミルクが必要なように、赤ちゃんの言葉と心を育むためには、お母さんやお父さんに抱っこされ、暖かなぬくもりの中で、絵本を読んでもらったり、やさしく語り合う時間がとても大切だと言われています。その中で、赤ちゃんは「自分が愛され、守られている存在であること」を感じるといわれています。



大人の言葉の音声(語り)を通して子どもは安心して絵本の世界に入れます。大人の音声(語り)を通してその心が伝わり、それによって子どもの心が育ち、自分の世界を広げていくといわれています。

絵本を読んであげることは、子どもがお母さんやお父さんと楽しい時間を過ごすことです。お母さん、お父さんの声に心地よい言葉のリズムと絵が重なり合って絵本の世界へと入っていきます。子どもは絵本の中の絵を読んでいるのです。絵を見ながら子どもはお話をする事で言葉を覚えていきます。子どもは絵の中からいろいろな発見をしているのです。

テレビやスマホなどでは、映像を目にするだけになり、その場で終わってしまいます。しかし、絵本は、同じ本を何度でも読み返すことができたり、ページを戻して見返したり、お気に入りの場面は気のすむまでジッとみていられます。どのように読んでも自由です。少しの時間、お子さんと絵本に親しんでみませんか！！ 絵本を介して、ホッとするひと時が持てると思います。



現在 子育て支援センターでは・・・

- * 子育て支援センターにおける施設利用
 - ・利用したい日の前日に予約を入れてください。
 - ・月曜日は前週金曜日をお願いします。
- * 各子育て講座
 - ・開催予定日の前日まで予約可能です。
- * おでかけひよこ、おでかけこっこ広場
 - ・前月の20日より予約の受付が始まります。

電話受付時間
平日10:00～12:00
13:00～15:00

子育て支援センター利用時間

①	9:30～11:45
②	12:15～14:15
③	14:30～16:30

* 新型コロナウイルス感染症拡大への対策として、利用人数の制限、換気や消毒等心がけています。また、利用時の体温測定をお願いしていますが、熱など体調の悪い方(ご家族も含みます)はご遠慮ください。ご不便をおかけしておりますが、よろしくお願いいたします。